



「私たちの種は遺伝的に改変されています」：絶滅に向けた人類の行進？ ミクロビオームとウイルス叢の分析

パートI

デビッドSkripac

グローバルリサーチ, 2021年11月13日

テーマ：科学と医学



ホームページ（デスクトップ版）のトップバナーにある「ウェブサイトの翻訳」ドロップダウンメニューを有効にすると、すべてのグローバルリサーチの記事を51の言語で読むことができます。

Instagramの@crg_globalresearchにアクセスしてフォローしてください。

2021年10月4日にGlobalResearchによって最初に発行されました

今年は人類の歴史における重大なターニングポイントを迎えます。人類の文明が始まって以来初めて、私たちの種は遺伝子組み換えされています。ワクチンメーカーは、誤って「ワクチン」と呼ばれている実験的な医薬品注射によって、ヒトゲノムを恒久的に変更し、人類と自然との関係を永久に変えることを可能にしました。

この決定的な出来事に照らして、私たちは、私たちが知っているように、人類を刷新している動機と行動を冷静に見なければなりません。同時に、私たちはますます破壊的な自然界の扱いを検討しなければなりません。

人類の終焉を早め、地球とその数十億の動植物種の管理者としての私たちのユニークな役割を妨害している多くの変数を調査するために、私はこの研究を4つの主要な部分に分けました。

パートI：微生物叢とウイルス叢では、この貴重な地球で生命が始まり繁栄するために不可欠であり、すべての種が生き残るのを助けようとしているゲノム情報の広大な海で文字通り泳いでいることを発見します。ミクロビオームを構成する生物のマトリックスは、地球上での適応と生物多様性の発生を可能にするウイルス情報ストリームを構築しました。そして、そのまったく同じウイルス情報の流れが、人間の種を構築する責任があります。

でパートII：**私たちの戦争に反対の自然**、私たちは私たち自身の無謀な行動が第六大量絶滅に向かって私たちを移動することにより、環境を破壊する方法を探ります。つまり、私は、ローマクラブによって開始され、世界経済フォーラム（WEF）によってさらに公布された、億万長者が資金提供した「地球温暖化/気候変動」の悪ふざけではなく、実際の環境災害を取り上げます。

でパートIII：**2020年に何が起こった**、我々はこの方法を検討するリアル、環境荒廃は2021年に2020年にロールアウトしたことを「パンデミック」、人間に未知の物質の質量の実験的な注射につながったことを「対象者」に貢献してきたし、それには予見可能な終わりはありません。（私は「パンデミック」をその詐欺的な性格のために引用符で囲みます。実際、それはより正確かつ適切に、ブランドミック、詐欺、疑似パンデミック、または偽物を示すその他の用語として説明されます。）

でパートIV：**私たちの応答**、私たちは、このいわゆるパンデミックに地球上で最も人々の無責任と非合理的な応答を分析します。

パートII、III、およびIVは、後でGlobalResearchによって公開されます。

ミクロビオーム

ミクロビオーム（ギリシャ語で「小さい」を意味する*micro*と「生命に関係する」を意味する*biotikos*に由来）は、何兆もの微生物からなる巨大な生態系です。信じられないことに、約40,000種のバクテリア、300,000種の寄生虫、65,000種の原生動物、そして350万から500万種の真菌 私たちの周りの環境に生息し、人体の中または上に住んでいます。この複雑な微生物の世界は、細菌、寄生虫、原生動物、真菌の通信ネットワークとして機能するウイルスの海を絶えず分泌しています。そして、すぐに発見するように、これらのウイルスは常に私たちを助けるためにここにあり、私たちを妨げることはありません。言い換えれば、彼らは生命を肯定するものであり、死を誘発するものではありません。

ミクロビオームの複雑さ、信じられないほどの多様性、そして微小なサイズのヒントは次のとおりです。真菌界内の遺伝子の数は少なくとも125兆です！ヒトゲノムは、比較することにより、単なる2万遺伝子からなります。ミバエは13,000遺伝子、持っている蜜31,000を。したがって、遺伝的複雑さの観点から、ヒトゲノムは、マイクロバイオーム内に含まれるゲノム情報の広大な世界と比較して、遺伝情報のほんの小さな断片を持っています。

微生物叢の魅力的な側面の1つは、ある微生物から別の微生物へのタンパク質情報の伝達を可能にする共生通信ネットワークです。たとえば、菌糸体の菌糸体ネットワーク（細い白いフィラメントのマトリックス）により、菌類は数キロメートルに及ぶ可能性のある距離で互いに通信することができます。これらの菌糸構造は、1キロメートル以上のミネラルとタンパク質の資源を移動させることができます。どのように？それらは、土壌システム内の経路を通して流れる光エネルギーと電子を使用します。このように、微生物叢は植物や他の多細胞生物の繁栄を助けます。菌界の菌糸体ネットワークを文字通り惑星の「脳」と呼んでも過言ではありません。ちなみに、すべての小さな、

理解するのは難しいですが、少なくとも1.4兆のバクテリアと10兆の真菌が人体の中に住んでいます。ヒト内結腸単独で3.8×10である¹³細菌細胞が。脳を含む体のすべての器官には、独自の微生物叢があります。私たちの体のバクテリアと菌類の目的は、私たちの細胞に栄養を与えて育て、私たちを健康に保ち、私たちを取り巻くより大きなマイクロバイオームと平衡状態に保つことです。

ウイルス叢

ウイルス叢は、母なる自然の使者が存在する広大な世界です。これは、前述の微生物叢の細菌、寄生虫、原生動物、および真菌によって生成される数兆から数兆のウイルスで構成されています。

平均的な成人の体は 1×10^{15} 含有¹⁵ウイルス。対照的に、地球を包む空気中で 1×10^{10} が存在する³¹のウイルスは、**地球の土壌** 2.5×10^{10} 個のがある³¹のウイルスは、そして、で、**地球の海** 1.2×10^{30} がある³⁰のウイルスが。これらの畏敬の念を起こさせるの番号にいくつかの視点を提供するために、 1×10^{31} ^{31a}は、全宇宙における既知の星の数よりも10万回以上です。

簡単に言えば、ウイルスはDNAまたはRNAのいずれかのゲノム情報であり、タンパク質エンベロープに包まれています。ウイルスのタンパク質エンベロープの外側から外側に突き出ているタンパク質の小さな鎖は、スパイクタンパク質と呼ばれます。ウイルスは生物ではありません。彼らは彼ら自身の燃料を生産しません。彼らはエネルギーを生み出すための代謝を持っていません。そして、彼らは再現することができません。

ウイルスは、上記の、世界的に旅行してきた**大気境界層**、空の旅のための機械が発明されたずっと前に、何百万年もの間。彼らの遺伝暗号は何年にもわたって地球を覆い、生物多様性を生み出し、生態系全体への適応を可能にしました。適応とは、ウイルスが地球のすべての生命体に回復力のある健康を生み出す目的で、常に遺伝暗号を適応させようとしていることを意味します。**RANDの国家安全保障研究部門**が信じているように、地球のある地域から別の地域に移動するために、ウイルスが航空機に**飛び乗らなければならない**ことを示唆するのはばかげています。

さらに、コロナウイルスを含むウイルスは、波に乗ってから跡形もなく消えるのではなく、後で同じ場所または別の場所に奇跡的に再出現するだけです。代わりに、ウイルスが去ったり、期限切れになったりすることはありません。それらは私たちの周りの環境のあらゆる要素に生息しています。要するに、それらは遍在し、常に存在しています。

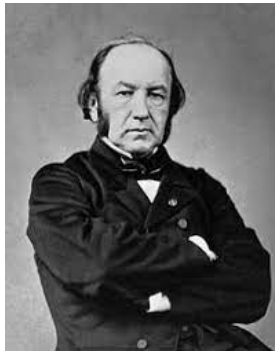
特定のウイルスとの関係は、自然に対する有害な行動の結果として変化する可能性があります。人間が空気、土壌、水を毒殺して汚染するときはいつでも、人類とウイルス叢の間に不均衡を生み出します。この不均衡は、特定のウイルスとの不均衡を引き起こす可能性があります。

残念ながら、ジョンD.ロックフェラーとアンドリューカーネギーが1910年のフレクスナーレポートで世界のほとんどに強制した対症療法の医学体制には、細菌、真菌、ウイルスが私たちの敵であると信じている科学界の大部分がまだあります。

ロックフェラーの対症療法スキームの基礎は、細菌やウイルスなどの外部微生物が体を攻撃、侵入、感染させ、それによって病気を引き起こすと主張する**ルイパスツールの**欠陥のある「病原菌理論」です。

西欧諸国のほとんどは、パスツール (1822–1895) が、私たちが「現代医学」と呼ぶもの、つまり各病気の起源を単一の細菌にまでさかのぼるパラダイムを確立する上で基本的な役割を果たしたと考えています。

パスツールの理論がなければ、ほとんどの現代の薬は生産、宣伝、処方されることはありません。これは、今日の医療機関とその共依存製薬業界が欠陥を認識したり、その効果がないことを認めたりすることを拒否する理由を説明しています。



対照的に、**クロード・ベルナール** (1813–1878) によって開始され、後に**アントワーヌ・ベシャン** (1816–1908) によって構築された「地形理論」は、地形、つまり身体の内環境ではなく、外部細菌は私たちの健康またはその欠如を決定します。ベシャンが「地形」と呼んだものは、現代医学が現在自然免疫系と呼んでいるものに非常に近いものです。次の段落で見ると、ベシャンは人体が実際に外部環境とどのように相互作用するかを発見する上で間違いなく正しい方向に進んでいました。

パスツールとは異なり、ベシャンは科学の学歴を持っていました。彼は、病気は、その代謝プロセスが不均衡になったときに体内で起こる変化の生物学的結果であると信じていました。体が不均衡状態にあるとき、ベシャンは、細菌が症状になり、それがさらに多くの症状を刺激し、最終的には病気につながると主張しました。

ベシャンは彼の地形理論で正しい方向に進んでいましたが、ロックフェラーとカーネギーが大学、病院、医学研究施設に助成金の形で喜んで提供したかなりのお金の注入のために、ロックフェラーの細菌依存性の製薬専制政治が優勢になりました。彼らの「慈善的」大規模なものは、簡単に1億ドルを超え、米国の医療機関全体、そして最終的にはほとんどの西側諸国の政策に影響を与え、化学物質のみに基づく対症療法体制に向かわせました。

私にはほとんどの西側諸国の政策に影響を与え、化学物質のみに基づく対症療法体制に向かわせました。

私はこの記事で、ロックフェラー医学が100年以上にわたって私たちに教えてきたことは反対に、ウイルスは私たちの細胞を攻撃したり、他の方法で私たちに害を与えたりするためにここにいるのではないと主張します。それどころか、**ウイルスに含まれるDNAとRNAの遺伝子分子情報は、文字通り地球上の生命の構成要素です。** 現代のアナロジーを使用すると、ウイルスの情報ストリームは、必要に応じて、生きている多細胞生物の任意の細胞にアップロードできる重要な分子インテリジェンスを運ぶソフトウェアアップデートと考えることができます。人体。私たちの細胞は、どの新しいゲノム情報が受け取られ、どの情報が受け取られないかを調節します。ウイルスは、回復力のある人間の健康を作り出す目的で、細胞に適応しようとしているだけです。

ここで免疫システムについて一言。自然免疫と獲得免疫の2種類の免疫があります。

自然免疫システムは、私たちの体がウイルスと相互作用する最初の主要な手段です。先天的なシステムは、体がそれに提示されている新しいウイルスの更新ごとに遺伝的バランスを見つけるのに役立ちます。体は、4日または5日以上更新後に、新しいウイルス情報を複製または複製する必要はありません。

先天性免疫システムは、腸と血流の間の物理的障壁などの人体の健康な境界、または血流と脳の間イオン、分子、細胞の動きを厳密に調節する血管（と呼ばれる）で機能します血液脳関門）、または私たちの細胞の遺伝子レベル（私たちの細胞の突然変異誘発タンパク質のような）。また、自然免疫システムは、**APOBec3A / 3G**や**CAS9**などのさまざまな酵素を介して機能します。これらの酵素は現在、自然免疫の中心と見なされています。

適応免疫システムは、私たちの体がウイルスと相互作用する二次的な手段です。

適応システムは、リンパ球（B細胞およびT細胞）として知られる体の白血球を利用することにより、ウイルスに対して非常に特異的な応答を開始します。B細胞は抗体を血流に放出する役割を果たします。抗体は、新しいウイルスの更新を受け取った後、または特定のウイルスとの不均衡を生じた後の、ウイルスとの相互作用の最初ではなく2番目の方法です。抗体は特定の標的を絞った防御です。それらは通常、体が最初にウイルスにさらされてから3~6週間後に現場に現れます。簡単に言えば、抗体はクリーンアップクルーのように機能し、不要になったウイルスやバクテリアを体が一掃するのを助けます。一方、T細胞はB細胞を刺激して抗体を作る役割を果たします。



ウイルス叢にさらされたときに人体がどれだけ速く適応するかを理解するために、7日齢の乳児を考えてみましょう。彼は、 1×10^{10} 個の便のちょうど1グラム中のウイルス粒子を。その子供は人生のこのような早い段階で抗体を開発する能力を持っていませんが、それでも彼はこれらのウイルス粒子に即座に適応し、完全に健康なままです。発熱する代わりに、彼は微生物と遺伝の両方で、ウイルス叢との安定した平衡（恒常性）を維持します。その事実だけでも、適応免疫システムを介してウイルス叢と相互作用するのではなく、自然免疫システムを介してウイルス叢と相互作用することが証明されています。

これらの事実からの重要なポイントは何ですか？私にとって、遺伝情報を取り込むという身体の決定は、非常に複雑で制御された生物学的プロセスであるということです。私たちの体が呼吸し、私たちの生活のあらゆる瞬間と接触する膨大な遺伝情報の海と平衡状態を保つ方法はたくさんあります。

ウイルスは生物ではないので、私たちの自然免疫システムはウイルスを殺すことはできません。代わりに、前述のように、自然免疫システムは単に新しいウイルスと遺伝的バランスを取ります。これは、そのウイルスから更新を複製または受信し、その新しいウイルスのアップロードに即座に反応することによって行われます。遺伝的バランスが達成されると、通常、ウイルスへの最初の曝露から4~5日後に、私たちの自然免疫システムはそれ以上の更新を受け取ることを拒否します。

これらの事実から、人間は「エビデミック」の発生を止めることはできず、エビデミックの軌道を変えることもできないと結論付けることができます。言い換えれば、常に役立つものをチェックしようとするのは、役に立たない-実際には、役に立たないよりも悪い：有害である-抗体反応（注射によって誘発される適応免疫系反応としても知られる）を生成するように設計された未承認の実験的遺伝子編集デバイスを配備することによるウイルス。その時代遅れの科学モデルは生物学的に非論理的であり、決して機能することはできません。私たちは今、それが私たちの美しく設計された自然免疫システムに干渉することを知っています。それは私たちが一時的な不均衡を引き起こす可能性のあるウイルスを完全に処理することができます。（HIVウイルスやコロナウイルスなどの特定のウイルスとの不均衡をどのように発生させるかについては、この記事の後半で説明します）。

さらに、世界中のワクチンメーカーや政府の保健機関によって広められた公式の物語とは対照的に、私たちの免疫システムは、新しいウイルスの更新を受け取ると、私たちの体が相互作用したウイルスと自然に挿入された遺伝子の記憶を保持します—私たちの細胞に。たとえば、自然免疫系では、細胞に大量のウイルスがアップロードされたときに過剰なDNAを切断する原因となるCas9酵素は、遭遇したDNAパターンを記憶する自然記憶データバンクです。

さらに、自然免疫系によって保持されている永続的な記録は、特定のウイルスに対して炎症を誘発する反応を起こすことのない次の世代の人間に受け継がれます。適応免疫システムにおいてさえ、B細胞（抗体の供給源）とT細胞（B細胞の刺激）は持続的な免疫を提供します。

2008年に感染症研究政策センター（CIDRAP）によって発表された多面的なNIH研究は、抗体免疫が一生涯続くことができることを決定的に証明しました。その研究では、エリック・アルトシュラー博士が率いる科学者のグループが、1918年のスペイン風邪の大流行の32人の生存者（91歳から101歳まで）から血液サンプルを収集しました。（実際、そのパンデミックの正しい名前は、その起源であるカンザスインフルエンザです。）驚いたことに、科学者たちは、ほぼ1世紀後、研究の参加者全員が同じインフルエンザ株に対する抗体をまだ持っていることを発見しました。

その21年前の研究の結果に基づいて、私たちは主流のメディアや医療機関によって私たちに押し付けられた宣伝を却下することができます。SARS-CoV-2ウイルスに対する自然免疫が、最初の曝露から6か月から1年後に衰える可能性があるというのは真実ではありません。そして、実験的な注射が免疫に到達する唯一の方法であるというのは真実ではありません。そのような根拠のない主張は、製薬業界や舞台裏で活動している他のテクノクラートの貪欲な議題を促進するために発明された単なるルースです。

結論：自然免疫の力は、実験的であろうと政府承認であろうと、注射の結果であると言われているウイルスに対する知覚された免疫よりも常に優れています。

生物学的に言えば、地球上のすべての生命は、ウイルスに含まれるRNAおよびDNAの分子遺伝学的配列から構築されています。これらのウイルスは、地球上の生命を開始し維持するために不可欠な、精巧に設計された遺伝子送達システムです。実際、今日の人間が受け継いだ20,000の遺伝子の50%以上が、これらの小さな自然の驚異によって、数百万年前に哺乳類のゲノムに挿入されました。これらの遺伝子の少なくとも8%は、HIVレトロウイルスと同様のRNAレトロウイルスによって挿入されました。（レトロウイルスは、自身を複製するためにそのゲノムのDNAコピーを宿主細胞に挿入するRNAウイルスです。）同様に興味深いのは、何百万年も前にレトロウイルスの更新が胎盤哺乳類の出現に重要な役割を果たしたという事実です。

興味深いことに、国立衛生研究所（NIH）が発表した2017年の研究は、私たちの多くが知らないうちにHIVレトロウイルスを持っていることを示しています。この研究では、研究者らは、米国とヨーロッパに住む8,240人の成人の血液を「全ゲノムシーケンスからの非ヒトシーケンスデータを調査」しましたが、感染症があることは確認されていません。彼らは、参加者の42%が、94の既知のウイルスの存在について陽性であるとテストしたことを発見しました。これらのウイルスには、HIVウイルス、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、およびインフルエンザウイルスが含まれていました。

私たちは、サハラ以南のアフリカに住む人々にHIVウイルスが優勢であるべきだと信じるように、医学界と企業が管理するメディアによって訓練されてきました。結局のところ、すべての「HIV陽性」症例の95%は世界のその地域から来ていると言われています。そうだとすれば、他の地域ではHIVがほとんどなく、C型肝炎やインフルエンザなどの有病率ははるかに高いと予想されます。そうではありません：それはちょうど逆です！実際、2017年の研究では、8,240人の無症候性のアメリカ人とヨーロッパ人において、C型肝炎とインフルエンザよりもHIVウイルスの有病率が5倍高いことがわかりました。驚くべきことに、アフリカに旅行したことのない人がいたとしても、それぞれがHIVウイルスと完全にバランスが取れていました。

公的および私的の両方の多くの強力な組織が、無限のエイズ運動を永続させる巨額の助成金と寄付から利益を得ていることを考えると、HIVと呼ばれるウイルスが病気を引き起こすという決定的な証拠を提供するための科学的な査読済み研究が行われていないことは驚くべきことではありませんエイズという名前。そのような研究が行われるとすれば、HIVがエイズにつながるという仮説は根拠がなく、より正確には詐欺的であることが証明されるでしょう。

科学者が焦点を当てるべき問題は、サハラ以南のアフリカで何が起きているのかということです。サハラ以南のアフリカに住む人々とHIVレトロウイルスとの間にこのような異常な関係を生み出し、95%がHIV陽性をテストしているのでしょうか。

その質問に答えるには、ウイルスが存在する地形を調べ、人体とのバランスを保つ必要があります。（「地形」とは、関連する生態系を伴う地理的領域を意味します。ここでは、前述のバーナード/バッシュン地形理論については言及していません。）地形が不自然なもの、たとえば無責任による環境中毒によって破壊された場合。人間の行動—ウイルスが過剰発現し、体とウイルス叢のバランスが失われます。

地形を考慮すると、いわゆる感染症の流行やパンデミックに共通する最大の要因は、生態系の破壊であることがわかります。言い換えれば、自然の地形は無責任な人間の行動によって変化し、私たちを取り巻くすべての遺伝情報への私たちの生来の適応が損なわれるほどです。

ウイルスが病気を引き起こしているわけではありません。むしろ、それは彼らが単に体に新しい遺伝的適応の選択肢を提示しているということです。次に、体の自然免疫システムが、その新しい情報をどれだけ吸収するかを決定します。おそらく食事の選択の悪さ、座りがちな生活習慣、

または環境中の毒性の結果として、細胞が緊急に修復を必要としている場合、ウイルスは体が再生過程を経るときに炎症イベントを引き起こします。これは通常、発熱、食欲不振、および白血球数の増加を伴います。このような炎症性イベントは、私たちが一般的に「インフルエンザ」と呼んでいるものです。

私たちが軽蔑的に炎症イベントと呼んでいるもの、つまりそれが体に悪いことを意味するものは、実際には体の治癒過程の一部です。炎症は、体内で再生を起こすために必要です。それは体に逆らうのではなく、体に代わって作用しています。しかし、体のマイクロバイオームが欲しがると同時に豊富である場合、それは更新を必要としないでしょう、そしてそれ故に炎症は起こりません。

サハラ以南のアフリカの場合、生態系は死にかけています。栄養豊富な土壌システムの崩壊、不十分な水衛生、基本的な衛生状態の欠如、慢性的に栄養不足の人口、そして工業型農業によって開発途上国に押し付けられたオキシモロニックな緑の革命によって追い抜かれた伝統的な有機農業の完全な排除が引き起こしましたその人口の大部分は、彼らの生来の免疫システムと環境の間の不均衡を発達させます。「エイズ」として知られている症候群は、その不均衡の表現です。フランスのウイルス学者リュック・モンタニエによって最初に発見されたHIVウイルスは、エイズの主な原因であると誤って非難されています。実際には、HIVウイルスは良性であり、そうではありません。あらゆる細胞の力学を引き継ごうとしています。

問題の本当の根源は、サハラ以南のアフリカの人々の自然免疫システムが、栄養不足によって劣化し、無数の病気の餌食になっていることです。タイトル「エイズ」。しかし、「科学者」は、悲惨な生態学的災害が引き起こしている現実に同意する代わりに、何十年にもわたる政府や企業の環境および経済犯罪を隠すための覆いとしてHIVウイルスを非難しています。

これまでに取り上げた情報から、ウイルスや病原体が感染症のパンデミックやエピソードを引き起こすことは不可能であると正しく結論付けることができます。そのようなことはないからです。「エイズ」、「エボラ」、その他の根拠のない「ウイルス性」パンデミックなど、伝統的な意味での感染症として。はい、製薬宣伝は何世紀にもわたって世界の考えに感染症のパラダイムを押し進めてきました。しかし、そのような病気が存在するという信念は、パスツールの暴かれた細菌説の結果にすぎません。私たちが一般的にエピソードまたはパンデミックと呼んでいるのは、単に惑星の人口の一部に現れる自然免疫系の劣化の結果です。この劣化の理由には、除草剤、農薬、または遺伝子組み換え食品による化学中毒が含まれる可能性があります。これについては、以下で詳しく説明します。

上記のウイルス叢の説明からわかるように、ウイルス叢は地球上のすべての生命の言語であると言っても過言ではありません。私たちは文字通り、この貴重な地球で生命が始まり繁栄するために不可欠であり、すべての種が生き残るのを助けようとしているゲノム情報の広大な海で泳いでいます。ミクロバイオームを構成する生物のマトリックスは、地球上での適応と生物多様性の発生を可能にするウイルス情報ストリームを構築しました。そして、そのまったく同じウイルス情報の流れが、人間の種を構築する責任があります。

したがって、人間はウイルス叢とマイクロバイオームから分離されていませんが、むしろ、ウイルス叢とマイクロバイオームの広大で複雑な生態系に不可欠です。しかし、私たちはますます、私たちが本質的な部分であるまさに生きているシステム、つまり自然に直接反対するようになりました。

*

読者への注意：上または下の共有ボタンをクリックしてください。Instagram、@crg_globalresearchでフォローしてください。この記事を手配するリストに転送してください。あなたのブログサイト、インターネットフォーラムへのクロスポスト。NS。

David Skripac は、航空宇宙工学の学士号を取得しています。カナダ空軍のキャプテンとしての2回の任務中、彼は旧ユーゴスラビア、ソマリア、ルワンダ、エチオピア、ジブチを広範囲に飛行しました。探究心、細部への鋭い目、そして大学時代と彼のキャリアを通して磨かれた問題解決スキルを使用して、デイビッドはこの記事をもたらすためにウイルス学と微生物学の分野で最新の科学的発見を研究することに100時間以上費やしました結実。

この記事の元のソースはGlobalResearchです。

Copyright© DavidSkripac, Global Research, 2021

Facebookページのグローバルリサーチ記事へのコメント

グローバルリサーチのメンバーになる

私たちのアーカイブからの関連記事

選択された記事：酸化グラフェン：COVID-19mRNAワクチンのバイアル中の有毒物質
2021年7月19日

パンデミック、「私たちの種は遺伝子組み換えされている」：私たちの反応
2021年9月7日

「私たちの種は遺伝子組み換えされています」：2020-21年に起こったこと。「パンデミック」
2021年10月10日



記事：

デビッド・スクリパック

免責事項：この記事の内容は、著者の単独の責任です。グローバルリサーチ研究センターは、この記事の正確または不正確な記述について責任を負いません。グローバルリサーチ研究センターは、元のグローバルリサーチ記事へのハイパーリンクとともにソースと著作権が認められている限り、コミュニティインターネットサイトにグローバルリサーチ記事をクロスポストする許可を与えます。グローバル・リサーチの印刷における記事や商用インターネットサイト、連絡先など、他の形態の出版のために：publications@globalresearch.ca

www.globalresearch.caには著作権で保護された素材が含まれていますが、その使用は必ずしも著作権所有者によって特別に許可されているわけではありません。私たちは、政治的、経済的、社会的問題のより良い理解を促進するために、「フェアユース」の規定の下でそのような資料を読者が利用できるようにしています。このサイトの資料は、研究および教育目的でそれを受け取ることに以前に関心を示した人々に利益なしで配布されます。著作権で保護された素材を「フェアユース」以外の目的で使用する場合は、著作権所有者に許可を求める必要があります。

メディアに関するお問い合わせ：publications@globalresearch.ca

最も人気のある
リンク
コンタクト
メンバーシップ
オンラインストア

世界経済
人道に対する罪
軍事化と大量破壊兵器
法務省
警察国家と公民権
歴史
9/11 & 「対テロ戦争」
メディアの偽情報

石油とエネルギー
警察国家と公民権
宗教
貧困と社会的不平等
科学と医学
国連
米国NATO戦争議題
女性の権利



[プライバシーポリシー](#)

著作権©2005-2021 GlobalResearch.ca